

号外

長官賞

令和6年度
「めざせ！食品ロス・ゼロ」川柳コンテスト
消費者庁長官賞

規格外人も野菜も味がある

静岡県 増田 浩二

規格外の野菜たちもおいしい料理に変身!!



令和6年度「めざせ！食品ロス・ゼロ」川柳コンテスト消費者庁長官賞 静岡県 増田 浩二
見た目だけで野菜が選別されることもフードロスが増える原因ではないでしょうか。
【論説】日本で、まだ食べられるにもかかわらず廃棄される「食品ロス」は、年間472万トン。一方で、国連による貧しい国や紛争地域向けの食料支援量は、年間370万トン。世界中で飢餓に苦しむ人に届けられる食料の1.3倍の食品が日本では食べられずに捨てられている。これは、もはや「もったいない」のレベルを大きく超えた量と言える。日本の食料自給率はカロリーベースで4割しかなく多くを輸入に頼っていることや、国内にも貧困に苦しむこともちがいが大勢いることを考えると、食品ロス問題は、日本が真剣に取り組まなければならない重要な社会課題であると言える。持続可能な社会を実現するために、国民運動として食べ物を無駄にしない取組を進める必要がある。